

波郷 記念館 だより

第54号



発行日 令和3年12月25日

江東区砂町文化センター
〒136-0073
東京都江東区北砂
5-1-7
電話 03(3640)1751

第七回「こども江東歳時記」

受賞作品決定しました！

俳句と写真のコラボレーション作品を募集した「こども江東歳時記」は、今年で七回目になります。

本大会は、石田波郷が、城東区北砂町（現江東区北砂）在住時代、読売新聞江東版に連載した「江東歳時記」（俳句と写真によるエッセイ）にちなんで開催しています。

今年度は四五七句の応募がありました。俳句部門は大谷弘至先生と日下野由季先生、写真部門は大西みつぐ先生による選考で、「江東歳時記賞」他、受賞作品が決定しました。十一月二十八日（日）授賞式を行いました。



石田波郷記念館「江東歳時記」賞

れいぞうこ開けっぱなしでアイスでろん

小学三年 浅川 裕将

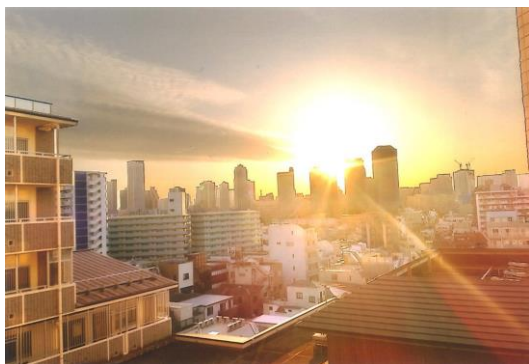
【大谷弘至先生 講評】

「れいぞうこ」とありますが、じっさいは冷凍庫なのだと思えます。誰もが経験したことがある、ちよっぴり残念な状況なのですが、それをうまく俳句にして笑いを生んでいます。転んでもただでは起きないところがすばらしいです。

読売新聞社賞

あとすこしーしよにかえろはるゆやけ

小学一年 堤 蒼一



【日下野由季先生 講評】

学校からの帰り道でしようか。時間を考えるところで友達と遊んだあとの帰り道かもしれないね。仲の良い友達と少しでも長く一緒にいたいという気持ちがとてもよく伝わってくる句です。春の夕焼がやさしく照らしてくれているところがとても良いですね。

風景賞

あめあがりありのがっこうれつくんで

小学一年 阿比留 ななえ



【大西みつぐ先生 講評】

写真に撮りたいと思うものをよく見ることは大事。そこから新たな発見や気づきが生まれます。この作品もありさんたちが「登校」しているように思えたところがいいです。小さな生き物たちが一生懸命に生きていることに気づいたはず。虫メガネでしっかりと覗くように、細かなところまでよく撮れています。

「(波郷には) ジャーナリスティックな面がありますから、記者が行くような場所に関心を示しそうですね。カメラもそこに関係していると思います。編集者や記者に向いていると思います。」

「特別インタビュー 波郷の素顔 石田修大」「角川俳句」2019. 11



はこべらすずめちゃん

石田波郷は、俳句と写真、両方とも大切にしていたんだ。

館蔵資料公開 「石田波郷と写真」

【写真を始めたきっかけ】

「私（波郷）は清瀬の療養所にある時、隣ベッドの患者がベビーパール（※）を樂しさうにいちづつてゐるのを見て写真を始めた。」
「療養、俳句、写真」「小説新潮」1957.2

※六櫻社（小西六本店、後のコニカ）が昭和九年（一九三四）から昭和二十五年頃まで製造した小型カメラ

【俳句と写真への思い】

「俳句と写真は同じだといふ説がある。俳句の盛な日本人の間でカメラブームが起るのは当然だといふ。写真を撮れば俳句はできないといふ者もある。いづれももつともらしい説にすぎない。どちらも本気で打込めば大変な仕事の一つである。」
「療養、俳句、写真」「小説新潮」1957.2

【波郷の写真と砂町】

展示室では、城東区北砂町（現江東区北砂）周辺を撮影した波郷の作品を公開しています。一部をご紹介します。波郷は、カメラフィルムが貴重だった時代に、記念写真などではなく、日常の風景を数多く撮影しています。



境川交差点

後方の建物は境川遊技場



しのぶ
志演尊空神社と物売り



城東警察署付近の洪水



妙久寺とSL

砂町文化センターニュース VOL.54

砂町文化亭 柳家小里ん 柳家三三 二人会

2010年から10年以上にわたり砂町文化亭にご出演いただき、地域の皆様に愛されていた柳家小三治師匠が2021年10月に逝去されました。

今回の落語会では、長年高座を共にされた柳家小里ん師匠と、小三治師匠の愛弟子、柳家三三師匠をお招きし、開催いたします。

■日時 2022年3月6日(日) 14時開演

■会場 砂町文化センター 3階・研修室

■全席指定 3,500円

シニア(60歳以上) 3,200円

※当日各200円増 ※6歳より入場可

2022年

1月10日(月祝)

10時～ 予約開始

砂町で 吟行&句会 を開いてみませんか

【施設のご案内】～句会に～

砂町文化センターでは、「会議室」などをお貸出ししております(有料)。センターには、「石田波郷記念館」、「砂町図書館」が併設されています。図書館には「俳句関連図書コーナー」もあります。

【周辺のご案内】～吟行に～

文化センターの周辺には、石田波郷も歩いた妙久(みょうきゅう)寺や志演(しのぶ)尊空神社、JR貨物小名木川(おなぎがわ)線などがあります。また、小名木川や仙台堀川公園、江戸時代に建てられた旧大石家住宅(江東区指定文化財)など散策をお楽しみいただけます。

【会議室を利用するには】

3か月前の3日午後1時から、お電話で予約をお受け付けいたします。

詳しくは、砂町文化センターホームページをご覧ください。お電話にてお気軽にお問い合わせください。